［略］

s　人口動態統計における平成 27 年から平成 29 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

［略］

α　次の算式Ⅷによつて算定した率（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、1.500 を超える場合は 1.500 とし、1.000 に満たない場合は 1.000 とする。）。ただし、平成 28 年度から平成 30 年度までの各年度における基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）が 0.52 以上となる場合は 1.000 とする。

算式Ⅷ

$\alpha = 1 + \{ (0.4 \times A + 0.075 \times B + 0.075 \times C + 0.075 \times D + 0.075 \times E + 0.075 \times F + 0.075 \times G + 0.075 \times H + 0.075 \times I) - 1 \} / 2$

市町村

算式

$(0.4 \times J + 0.1 \times K + 0.1 \times L + 0.1 \times M + 0.1 \times N + 0.1 \times O + 0.1 \times P) \times \alpha \times 0.215$

0.4 × J、0.1 × K、0.1 × L、0.1 × M、0.1 × N、0.1 × O 及び 0.1 × P に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Ⅰによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅰ

$J = 0.30 \times (k - j) + \gamma$

算式Ⅰの符号

［略］

k　平成 28 年から平成 30 年までの各年における人口増減率の合計数

［同左］

s　人口動態統計における平成 26 年から平成 28 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

［同左］

α　平成 29 年改正前の省令附則第十九条の十四の二第七項の表都道府県の項の算式によつて算定した経常態容補正Ⅱの率と同一の率

β　次の算式Ⅷによつて算定した率（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、1.500 を超える場合は 1.500 とし、1.000 に満たない場合は 1.000 とする。）。ただし、平成 27 年度から平成 29 年度までの各年度における基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 2 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）が 0.52 以上となる場合は 1.000 とする。

算式Ⅷ

$\beta = 1 + \{ (0.4 \times A + 0.075 \times B + 0.075 \times C + 0.075 \times D + 0.075 \times E + 0.075 \times F + 0.075 \times G + 0.075 \times H + 0.075 \times I) - 1 \} / 2$

市町村

算式

$[\{ (0.4 \times J + 0.1 \times K + 0.1 \times L + 0.1 \times M + 0.1 \times N + 0.1 \times O + 0.1 \times P) \times \beta \times 0.215 - \alpha \} \times 2 / 3 + \alpha] \times 1.002$

0.4 × J、0.1 × K、0.1 × L、0.1 × M、0.1 × N、0.1 × O、0.1 × P、$\{ (0.4 \times J + 0.1 \times K + 0.1 \times L + 0.1 \times M + 0.1 \times N + 0.1 \times O + 0.1 \times P) \times \beta \times 0.215 - \alpha \}$ 及び $[\{ (0.4 \times J + 0.1 \times K + 0.1 \times L + 0.1 \times M + 0.1 \times N + 0.1 \times O + 0.1 \times P) \times \beta \times 0.215 - \alpha \} \times 2 / 3 + \alpha]$ に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式の符号

J　次の算式Ⅰによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅰ

$J = 0.30 \times (k - j) + \gamma$

算式Ⅰの符号

［同左］

k　平成 27 年から平成 29 年までの各年における人口増減率の合計数